Ａグループ

　　　「学び・やり甲斐・ACTIVEプロジェクト」の指導内容を中心とした、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の指導についての実践例

～～話すこと・聞くこと「情報を引き出す質問の工夫をしよう」～～

　山梨県立北杜高等学校　国語科　教諭　野田美穂

|  |
| --- |
| **現代文**Ｂ（総合学科）  情報を引き出す質問の工夫をしよう【話すこと・聞くこと】 |

**（１）年間指導計画における、取り上げた単元の位置づけ**

・総合学科の指導計画においては、就職・進学後の社会でのコミュニケーションや言語生活に役立つ知識や技能、様々な人や出来事を多面的に理解できる思考力を身に着けさせることを意識した。

・前期は評論、小説教材を用いて「読むこと」の指導を中心に行い、後期は国語表現で扱う内容を意識し「書くこと」「話すこと・聞くこと」の指導を中心に行った。本単元は後期の学習内容のまとめとして設定したスピーチの材料を準備するための単元として設定し、12月から1月にかけて実施した。

**（２）単元の目標**

・国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割などを理解すること。【知識・理解】

（「伝統的な言語事項と国語に関する特質」（１）のイの(ア)）

・目的や課題に応じて必要な情報を収集するために効果的に質問したり正確に聞き取ったりすること。

【話す・聞く能力】（現代文Ｂ(１)エ、国語総合Ａ(１)イ、国語表現(１)エ）

・目的や課題に応じて必要な情報を収集するために効果的に質問したり正確に聞き取ったりしようとすること。【関心・意欲・態度】

**（３）取り上げた言語活動と教材**

**言語活動**：必要な情報を引き出す効果的な質問でインタビューを行う(現代文Ｂ（２）ウ)

**教材**：プリント（次単元との共有部分あり）

**（４）単元の見通し**

初回の授業で目標と活動の流れを説明した。また振り返りシートを毎時記入し、全体の目標に向けての学習内容の確認と反省とを行った。

**（５）具体的な評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **関心・意欲・態度** | **話す・聞く　能　力** | **知識・理解** |
| 相手の立場や考えの基となる事実や事柄を捉える質問の仕方、聞き方を工夫しようとする。 | 相手の立場や考えの基となる事実や事柄を捉える質問の仕方、聞き方を工夫する。 | インタビューに必要な語彙や表現方法を理解する。 |

**（６）指導と評価の計画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **次** | **具体的な評価規準と評価方法** | **学　　習　　活　　動** |
| １ | **【評価規準】**  相手の立場や考えの基となる事実や事柄を捉える質問の仕方、聞き方を工夫しようとする。(関心・意欲・態度)  **【評価方法】**  「行動の観察」 | ○「セリフあてゲーム」を行い、求める話題や言葉を相手から引き出すことに挑戦し、その難しさと自身の質問の仕方の課題を知る。  ・５～６人のグループで２人がインタビュイーとして回答し、残りはインタビュアーとして質問する。  ・３分以内に回答を引き出すことを目指す。  ・制限時間を超えたらオーディエンス(グループ以外の生徒)が質問の権利を得る。  〇振り返りとして日常会話での自身の会話の仕方、質問の仕方について考え、課題を持つ。 |
| ２ | **【評価規準】**  インタビューに必要な語彙や表現を理解する。  (知識・理解)  **【評価方法】**  　　　「記述の点検」 | 〇インタビューの方針と質問内容を計画する。  ・プリント①を使用し、２人組で相手から引き出したい話題と必要な質問項目を考える。  〇相手から話を引き出すための質問の仕方に関する知識を得て質問項目を再設定し、詳細なインタビューの項目を作成する。  ・プリント②を使用する。  ・実際のインタビューを想定し、核となる質問(MUSTの質問)と時間があれば聞きたい質問(WANTの質問)に分類する。  ・相手からより多くの情報を得る聞き方(オープン・クエスチョン)と事実を明確にする聞き方(クローズド・クエスチョン)との使い分けを意識し、計画を作成する。 |
|  |
| ３ | **【評価規準】**  相手の立場や考えの基となる事実や事柄を捉える質問の仕方、聞き方を工夫する。  (話す・聞く能力)  **【評価方法】**  　　　「行動の観察」  「記述の点検」 | 〇インタビューを行う。  ・２人組で各２０分間インタビューをしあう。  ・プリント②にメモをとりながら聞く。  〇振り返りとしてインタビューでの自身の質問の仕方について反省と自己評価とを行う。  ・インタビュー内容は次の単元で活用する。 |

**（７）各次の評価基準**

**【第１次】（１時）**

|  |  |
| --- | --- |
| **目標**（評価規準） | 相手の立場や考えの基となる事実や事柄を捉える質問の仕方、聞き方を工夫しようとする。(関心・意欲・態度) |
| **言語活動** | 「セリフあてゲーム」を行い、求める話題や言葉を相手から引き出すことに取り組み、その難しさと自身の質問の仕方の課題を知る。 |
| **教材** | 振り返りシート |
| **評価基準** | **Ａ**　相手の言葉を引き出す工夫をしようとし、自身の質問の仕方の課題を見出そうとしている。 |
| **Ｂ**相手の言葉を引き出す工夫をしようとし、自身の質問の仕方について振り返ろうとしている。 |
| **Ｃへの手だて**  　　　B段階に達しない生徒には、活動の最中に積極的な取り組みを促す声かけを行う。 |
| **評価方法** | ゲームへの取り組み状況、振り返りシートへの記入状況を観察し声かけを行う。 |

**【第２次】（２時～３時）**

|  |  |
| --- | --- |
| **目標**（評価規準） | インタビューに必要な語彙や表現を理解する。(知識・理解) |
| **言語活動** | 相手から話を引き出すための質問の仕方に関する知識を得て質問項目を設定し、インタビューの項目を作成する。 |
| **教材** | プリント |
| **評価基準** | **Ａ**質問の仕方に関する知識を活用して質問項目を設定し、実際の会話を想定しての詳細なインタビューの項目を作成した。 |
| **Ｂ**質問の仕方に関する知識を得て質問項目を設定し、インタビューの項目を作成した。 |
| **Ｃへの手だて**  B段階に達しない生徒には、質問の例などを提示して項目を作成させる。 |
| **評価方法** | 授業中、授業後にプリントの記入状況を点検する。 |

**【第３次】（４時）**

|  |  |
| --- | --- |
| **目標**（評価規準） | 相手の立場や考えの基となる事実や事柄を捉える質問の仕方、聞き方を工夫する。(話す・聞く能力) |
| **言語活動** | インタビューを行い、自身の質問の仕方について反省と自己評価とを行う。 |
| **教材** | プリント |
| **評価基準** | **Ａ**計画に従ってインタビューを行い、相手の回答に合わせて質問の仕方を変えたりなどして相手の考えを深く聞き取ることができた。 |
| **Ｂ**計画に従ってインタビューを行い、相手の考えを聞き取ることができた。 |
| **Ｃへの手だて**  B段階に達しない生徒には、適宜質問計画に即して助言を行う。 |
| **評価方法** | インタビューを観察しながら適宜声掛けを行い、メモを点検する。 |

**（８）評価の実際**

**【第２次】**評価例※再現

　　例１　インタビュー目的：「小学生から知っているKの知らない一面を明らかにする」

　　　　　オープンクエスチョン「なぜ剣道を始めたのか」

　　　　　オープンクエスチョン「なぜ警察官を目指したのか」

　　　　　オープンクエスチョン「将来行きたいところはどこか」

　　⇒　**Ｂ**評価理由：引き出したい話題についてオープンクエスチョンを活用したインタビュー項目を作成できている。

　　例２　インタビュー目的：「Mの美の秘訣を知る」

　　　　　クローズドクエスチョン「自分を美しいと思うか」

→「はい」の場合　オープンクエスチョン「自分のパーツのどこに自信があるか」

→「いいえ」の場合　オープンクエスチョン「誰を美しいと思うか」

　　　　　オープンクエスチョン「美容のために気を付けていることは何か」

　　　　　オープンクエスチョン「美容を意識して飲んでいるものは何か」

　　⇒　**Ａ**　評価理由：引き出したい話題についてオープンクエスチョンとクローズドクエスチョンを活用し、場合分けを行ってインタビューの展開を想定した項目の作成ができている。

**（９）評価方法の具体例**

**【第２次】**作問案※実施していない

　　問１　AさんとBさんが話をしています。Bさんが次の傍線部のような写真の魅力を語るためにはどのような質問をすればよいか、空欄aｂに当てはまる質問を記入しなさい。

　　A：いいカメラを持ってるね。　　　a

　　B：風景でも人物でも、気になるものは何でも。自分の作った料理や町の看板なんかも面白い写真になるよ。できあがった写真はインターネットでたくさんの人に見てもらえるようにしてるんだ。

　　A：へえ。　　　ｂ

　　B：うーん…何だろう。私はカメラを持つようになって、道端の花とか、雨上がりの空とか、今ま

　　で見過ごしていたようなちょっとしたことにも目を向けるようになったの。

　　A：へえ、そうなんだ。

　　B：それが私にとってのカメラの楽しさかな。

　　問２　テレビでアナウンサーが男性にインタビューをしています。男性に今年の採用の方針について語ってもらうためにどのような質問をすればよいか、空欄aｂに当てはまる質問を記入しなさい。

　　ア：今回は、林電機の田中さんにおいでいただきました。早速お尋ねしたいのですが、今年の新入社員の採用では、　　　a

　　男：例年は積極性を見ていますが、今年は積極性以外も重視しました。熱意だけではなかなかうまくいきませんから。

　　ア：なるほど。御社は、海外との取引も増えているとのことですが、　　　ｂ

　　男：語学力も大切ですが、入社後でも教育できます。面接では、どちらかといえばコミュニケーション能力の有無の方を見ます。

　　　　解答案　問１　aどんな写真を撮るの。　ｂカメラの楽しさってなに。

　　　　　　　　問２　a何を重視していますか。

ｂ語学力とコミュニケーション能力はどちらが大切ですか。

**（１０）振り返り**

・振り返りシートへの記入。

　　 ・続く単元（スピーチ）に活用することでインタビュー内容について自己評価させる。

**（１１）生徒に課す家庭学習課題**

　実施単元に関しての家庭学習課題はなし

**（１２）取組を振り返って**

○単元の見通しの持たせ方はどうだったか

　　　毎回の授業の最初に活動の最終目的を常に意識させ、各時の内容に関しても説明し目標設定を行わせたことで見通しをもって学習に取り組むことはできたと考える。

　　　○言語活動は、付けたい力に対して適切だったか○単元の設定及び実施時期は適切だったか

　　　不適切ではなかったと思うが、もう少し「書く」「話す・聞く」については年間を通してよりハイレベルな内容を設定できたらという反省がある。しかし生徒自身が活動の意味と身につける力の関係を認識することを重視すると課題設定が難しいと感じた。指導者の勉強が必要である。

　　　○評価規準、基準の設定の仕方はどうだったか

　　　C評価にあたる生徒はほとんどいなかったのでそういう点においてももう少しレベルを上げてよいのかとも考えた。

　　　○評価のタイミングは適切だったか○評価は適当だったか

　　　どのように判断してよいかが難しいです。ご指導ご助言をお願いします。

　　　○評価は、生徒の学習改善に還元できたか

　　　実施のタイミング的に「学習改善」に還元したかはわからないが、コミュニケーションについての意識や姿勢には多少影響をもたらせたのではと考える。

　　　○評価は、授業改善に資することができたか

　　　初めて実施した内容であったので、プリントへの記述の点検を行うことで用意していた次時のプリント等を改訂することができた。

○家庭学習課題と単元の有機的関連はあるか

　　　なし

○１年間を振り返った時、生徒は身に付けさせたい力を獲得できたか

　　　課題が多い。特に総合学科は授業時数が少ないので身につけさせる力を精選して授業を実施していかなければいけないと感じている。

**【成果の上がった点とその要因】**

　　　「効果的な質問ができた」の項目においてすべての生徒が★★★以上と回答し、約50％の生徒が

★★★★以上と回答した。また「オープン＆クローズドクエスチョンの使い分けができたか」の項目においても約90％の生徒が★★★以上と回答し、約38％の生徒が★★★★以上と回答した。

**【課題とその原因、課題に対する改善案】**

　　　前述したが、総合学科の「書く」「話す・聞く」と普通科の「話す・聞く」についてよりハイレベルな内容を設定したい。生徒自身が活動の意味と身につける力の関係を認識できる課題設定の事例について研究したい。

**（１３）資料**

参考文献等

　　　絹川 友梨『インプロ・ゲーム 身体表現の即興ワークショップ』（晩成書房）

　　　独立行政法人国際交流基金『日本語能力試験公式問題集N１』(凡人社)

絶対に成功させたいインタビュー取材の経験から学んだ13のポイントとコツ

<https://liginc.co.jp/life/useful-info/113630>

生徒の振り返りより

　　　・その質問にどう答えが返ってくるのかを予想する。相手の考えに対して、自分の意見を持つ。

　　　　自分の考えと相手の考えをてらし合わせる。

　　　・相手のことを知るために良いことも悪いことも聞くことが大切だと思った。一つの方向からでは内容にかたよりも出てしまうと思うので他方向からも聞くべきだと思った。

　　　・あらかじめ決めておいた質問にしばられないこと、話を広げられれば、思った以上のことが聞き出せるかもしれないし、今後の関係も良好になると思った。

　　　・相手の話を聞くことに必要なことは、上にも書いてあるように「話の展開を想定して質問すること」だと思います。この質問をしたら次はこの質問につながるということを考えてインタビューすることが必要だと思いました。

　　　・「インタビュー」とだけ聞くと簡単そうに思いますが、実際にやってみると難しいものだなぁと感じました。聞きたいことだけ聞くのではなく、相手の情報も引き出すというテクニックが重要だと思いました。

　　　・インタビューを通して、聞き方や聞く内容をどのようにすれば相手に伝わりやすいかなど考えながら授業を進めていくことができました。

使用プリント



